

臨床医のための総合画像診断セミナー2 「3T-MRIを臨床でとことん使いこなす」を開催

3月4日（水曜日）、大分全日空ホテル（大分市高砂町2番48）「孔雀の間」にて、大分大学医学部臨床医学系放射線医学講座様ご協力の下、「臨床医のための総合画像診断セミナー2～3T-MRIを臨床でとことん使いこなす～」（主催：大分先端画像診断研究会）を開催しました。

このセミナーは、大分県内の臨床医（患者の診療に従事する医師または歯科医師）に画像診断の有用性を広く理解していただくために開催しているセミナーです。2009年の1年間で3回のセミナー開催を企画しており、第1回目は『PET-CT』をテーマに開催し、第2回目は『3T-MRI』をテーマに開催しました。

今回の「3T-MRI」セミナーには、大分県内の医療機関に勤務する医師、開業医を中心に128名が参加し、盛況のうちに閉会しました。次回は、『最新CT』をテーマに、臨床での有用性・症例紹介など、臨床の実践に直結するセミナーを開催する予定です。メディアの方のご参加も受け付けておりますので、よろしくお願い申し上げます。第2回セミナー内容の詳細は下記の通りです。



【内容】

司会・座長：森 宣（大分大学医学部 臨床医学系 放射線医学講座 教授）

●挨拶

「大分先端画像診断センターの役割と3T-MRIの稼働状況」

大分先端画像診断センター センター長 友成 健一郎

●Case Study1

「総合画像診断における3T-MRIの有用性－腹部、乳腺、骨盤領域－」

大分大学医学部臨床医学系放射線医学講座

医局長 田上 秀一

●Case Study2

「総合画像診断における3T-MRIの有用性－頭頸部、血管系を中心に－」

久留米大学附属病院放射線科

准教授 安陪 等思

●Case Study3

「総合画像診断における3T-MRIの有用性－四肢、新たな領域（胸部・心臓）－」

宇都宮セントラルクリニック、株式会社ドクターネット

代表 佐藤 俊彦

主催：大分先端画像診断研究会

共催：大分先端画像診断センター

後援：大分県医師会

協力：大分大学医学部 臨床医学系 放射線医学講座